

第9回 有機分子・バイオエレクトロニクスの未来を拓く 若手研究者討論会について（実施報告書）

開催日時	2018年9月28日14:00～9月29日12:30
場所	天童温泉「ほほえみの宿滝の湯」（山形県天童市）
参加者	40名（内応用物理会員20名）

開催目的

「異分野への視野を広げる」をテーマとして、既に学問分野を創出して来た研究者や創出することを目指している気鋭の研究者の先生を講師として招き、また研究者を目指す学生や若手研究者間での討論を通じて、当分科会の活性化を図った。

開催内容

第1日目には学生の研究紹介、時任静士先生（山形大）による招待講演の後、ポスターセッションによる学生・若手研究者の研究紹介を行った。第2日目には学生の研究紹介の後、安田剛先生（NIMS）と平野愛弓先生（東北大）による招待講演を行った。

開催結果

学会などではなかなか聴講できない基礎的な領域から研究にまつわる産みの苦しみの痛み、各分野における最先端研究を聞くことで、異分野への理解を広げる議論ができたと感じられた。参加者の投票による審査により、優れた発表を行った学生3名（大原浩明（東北大）・照井大貴（岩手大）・伊藤祥穂（山形大）の各氏）に優秀プレゼンテーション賞が授与された。今回の研究会は従来の2泊3日の日程から1泊2日の日程へ変更しての開催となり、時間の短さを指摘する声も聞かれたが、日程変更は予算面と参加者への負担減には効果があり、また将来基金の支援を賜うことで学生の参加費を低減し多くの参加を促すことができた。今後は会の趣旨を踏まえて両者のバランスを取ることが重要であることが分かった。

